



m I R a 通信

夏休みHPバージョン

～輝く「未来」の中に「伊里」はある～



終業式後から先生たちも頑張ってます



1学期終業式を終え、ホッとしたのも束の間、午後2時15分から2連発で職員研修を行いました。

まずは、「構成的グループエンカウンター」で、「Xさんからの手紙」と名付けた「良いところ探し」です。全員に用紙を配り、良いところを書き合ったものを、この日配って読みました。そしてふりかえりを行い、読んで一番嬉しかった言葉を紹介し、そして感じたことや思ったことを発表していきました。講師は、私が務めさせていただきました。



学級などでもよく行うエクササイズだと思えますが、教員みんなでも体験も兼ねてやってみました。「誉めることって難しい」「相手が喜ぶであろう言葉を選ぶのは難しい」という書く立場での感想から、「見てて貰えると嬉しいなと思うところを書いてくれていてすごく嬉しかった」などの、書かれた立場からの感想がありました。

「認められる」「受け入れられる」「誉められる」ことは幾つになっても嬉しいものですね。先生たちも生徒たちも、みんながみんな、そんな嬉しさに浸れる学校を創っていきたいですね。



続けては、「救急救命法研修」です。毎年行っていますが、AEDと胸骨圧迫法による人命救助の体験研修です。

東備消防から5人の方が来られ、そして何とメイン講師は、本校支援員の松井先生なのでした。救急救命の講師の資格を持っておられるのです。

全員が一通り体験しました。実際にはあってほしくないことではありますが、本当の本当の現場に遭遇すると、思うようには出来ません（体験者談）。何度も繰り返し研修することが大切だなと痛感します。



夏となり、水難事故も多くなります。もちろん事故に遭わないように気をつけることが一番ですが、何かあった時に適切に対応ができるようにしてほしいものです。

保護者の皆様も、機会があればぜひ研修を受けてくださいね。生徒のみなさんは、そういう場面に遭遇したら、とにかく大声で助けを呼びましょう。

最後は、小田先生からの、アレルギー反応に対する処置の「エピペン研修」で締めくくりました。みんなで「グサッ」と太ももに疑似注射をする体験をしました。ガンバリマシタ！